

東北地連・中四国地連

女性協定期大会開く



女性協議会

*東北地連女性協定期大会

女性のつどいも 同時開催

11月12日(土)より13日(日)、青森で「民放労連東北地連女性協議会第四回定期大会」と「第四回東北地連女性のつどい」が開催されました。3・11の東日本大震災で甚大な被害を受けた東北。震災後初めて東北地連内の女性組合員が集まり、意見交換を行う良い機会となりました。初日に行われたつどいは、「3・11その時私は…」

放送人として、女性として、母としてと、通し、東日本大震災当時の様子や被災地の現状、仕事環境や生活環境について話し合いました。報道では知り得ない生の声は衝撃的で、放送は何も伝えられていないのではないかとショックを受けながらもありました。放射線の影響が心配される中、会社はひとりで社員健康・命を守ってくれるのでし



第42回東北地連女性協議会定期大会

参加したみなさんで記念撮影

思うように進まないなど、恒常的な問題点も挙げられました。

この定期大会・つどいを通じて芽生えた新たな絆はきつと、今後の様々な場面で心強く感じられることと思います。身正し本気の幸せのために、少しずつでも働きやすい職場環境を自覚し、ともに活動していきたいと思えます。



参加者全員で記念撮影

としていて、が、いま、ちよくわかない。何年も社員を雇用してないため、組合員が高齢化している。「年俸制や職種別」といった異なる条件による雇用形態を取り入れている」

●女性協 URL <http://www.minpororen.jp/women/index.html>

必要会を行う必要性も語られました。そして、この成果を知らない、忘れさせないような取り組みをしていくことを再確認しました。

12月12日(土)に、また

当日の夜に広島く袖台に飛行機で、その後電車で青森まで移動されるという換行車での参加に、中四国のメンバーは非常に感激していました。

定期大会では、「同じ職場環境の中、同じ悩みを共有したいが、雇用条件がいろいろと違うので話ができない」「新入社員がなかなか入ってこないため、みんな本気で働ききつている」「新人事制度を導入している

がありました。さまざまに変化する人事制度や雇用形態に対する問題点、産休や育休による差別や不利益について、アナウンサーの契約問題などについても、各単組の情報や意見の交換が行われました。

今後は新メンバーに引き継ぎますが、日頃なかなか共有できない女性の悩みを、組合活動を盛らせても相談できる場にしていければ、より有意義な集まりになるとみんな再確認しました。